



「ディスカバー農山漁村の宝アワード」応募用紙（個人用）

都道府県名（必須）	〇〇県	市町村名（必須）	〇〇市
-----------	-----	----------	-----

氏名（必須）	〇〇〇
--------	-----

1. キャッチフレーズ（必須） ※20字以内で記入してください。
〇〇を使った持続可能な生活を

2. 活動のきっかけ（必須） ※200字以内で記入してください。
東日本大震災で流通が止まり、当時暮らしていた首都圏でも様々な生活必需品が消え、それまでの当たり前であった生活が出来ない状況になりました。「農産物を作る生活」「作り出せる生活」の必要を感じ、作れる土地（〇〇県）に移住をしました。農業の知識も農地もなかったため、〇〇で農業を学び、農地を借りて夫婦で農業をスタートさせました。

3. 取組概要（必須） ※50字以内で記入してください。
農業・食品加工・販売、3本柱の小さな6次産業。
子育て環境の充実として学童保育を立ち上げ運営。

4. 取組の具体的内容及び成果（効果）（必須）
※応募フォーム「該当する取組」で選択した項目についての活動内容、時期及びその成果（効果）を600字以内で記入してください。（地域資源の活用、他地域への影響、デジタル化・輸出・グリーン化・食料安全保障強化などへの取組内容、情報発信、取組の持続性・継続性、所得・雇用の増大、地域活性化への貢献などの観点から記載願います）

①付加価値のある農業
自らは環境保全型農業で農産物作り。地元農家さん〇軒に付加価値のあるお米作りを依頼して儲かるお米作りを実施。ブランド米を3種類作りました。（〇〇・〇〇・〇〇）

②食品加工
お米の消費拡大を一つのテーマにして、〇〇、〇〇、〇〇など、お米の可能性を模索して安心・美味しい食品加工に取り組んでいます。地産地消にも積極的に取り組んでいます。

③販売
全国の消費者さんにネット販売。〇〇、〇〇、〇〇などを全国発送し、現在は全国で約〇〇世帯が登録中です。週に1回〇〇専門の店舗を営業、店名「〇〇」。人気の「〇〇」は1日に〇〇個以上が午前中に完売する人気店になりました。直売所的に野菜や町の特産品も販売しています。過疎が進行する町ですが営業日には行列ができる賑わいです。他県からの来店もあり、パートさん〇人の雇用先にもなりました。

④子育て環境
学童を立ち上げ運営、様々な体験教室を開催。首都圏から子ども達を呼び休校中の学校で合宿。〇回実施

5. 活動実績（必須） ※「項目」は、具体的な活動内容ごとに記入してください。（個人または、あなたが活動する地域での実績を記入してください。）

項目	単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度（見込み）
年間売り上げ	千円	7000	7500	9000	9500	9800	10000
	解説：事業全体の売り上げ（〇〇・〇〇・〇〇）。農産物の加工品販売が増えています。						
〇〇販売売上	千円	300	1000	3000	4000	4500	5000
	解説：〇年〇月末に〇〇専門の店舗を開店、週に〇回の店舗営業						
米生産量	kg	6000	6300	6700	7100	7500	8000
	解説：取り扱いブランド米：〇〇・〇〇・〇〇						

※R2年度、R3年度及びR4年度について、実績値が新型コロナウイルス感染症を原因とした減少である場合は、その実績値に「※」を記入してください。また、新型コロナウイルス感染症関連で実績に影響がある場合は、「4. 取組の具体的内容及び成果（効果）」に影響を踏まえた対応や工夫を記入してください。

6. 活動の主な変遷 (必須) ※これまでの活動の主な変遷について記入してください。						
初年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度 (見込み)
平成〇年〇月 〇〇県に移住	〇賞 優秀賞 受賞	空き家を有効 利用・〇〇専門 店舗開店	休校を利用し、 首都圏学生の 合宿を行う。	〇〇専門店舗 の1日平均売 上が〇万円に	新型コロナ ウイルス感 染症に対応 した「〇〇」 提供開始	

7. 今後の展開方向 (必須) ※200字以内で記入してください。
※期待できる地域等への波及効果や取組を持続していくための方策などがあれば併せて記入してください。
①数年後に〇反の農地を入手予定なので、〇〇や〇〇の無農薬栽培を予定。少々見た目が悪くても付加価値作物としての需要があります。
②米飯食だけではお米の消費は増えず、それでも稲作は守っていくべきと考えるので、〇〇等人気のあるものに加工し、これらをのれん分けしていけるようセントラルキッチンを考案中。
③子供達が「無いなら作る」と考えられるよう、作る楽しみ、魅力を伝えて行きます。

8. あなたとあなたが活動する地域の関係団体や関係者との協力・連携の状況について (必須) ※400字以内で記入してください。
①お米生産者さんはお米を作っても儲からないと嘆いていました。付加価値のあるお米作りを依頼して儲かるお米作りが実現出来るようになり、耕作面積も増えました。
②休校中の小学校に過去〇回、首都圏の子ども達を呼び合宿交流を行いました。団塊の世代、婦人会、商工会、町民の皆さんに協力頂き都会の子ども達と町民の交流 BBQ も実現出来て、今では毎年休校中の学校でイベントや川遊びが行われるよう変化しました。 地元の方から休校中の学校から「子ども達の声が聞こえる」と喜ばれました。
③学童を立ち上げ、休園中の幼稚園を利用。支援員さん数人も町内の団塊の世代の方々が意欲的に勤務。子どもたちが様々な事を体験できるよう、町内や市内で活動している人に声をかけ講師として招く。
③これまで、市と県から委員任命され、移住者の立場から様々な提案をさせて頂きました。今後も〇〇市の中小企業意見交換会が予定されています。

9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須)	
※活動を代表する写真を必ず3枚以上(うち、顔写真1枚必須)添付してください。	
※写真・図表の説明を20字以内で記入してください。	
※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないよう十分に御注意ください。	
※写真等を貼り付ける際は圧縮するなどして、Wordのファイルサイズが5MB以下となるようにしてください。	
写真・図表等	写真・図表等
()	()

写真・図表等	写真・図表等
()	()
写真・図表等	写真・図表等
()	()

10. 表彰等の受賞歴（該当あれば）

※現在、応募中の表彰等も記入してください。（個人またはあなたが活動する地域の実績を記入してください）

表彰名等（受賞年度）	主催者
〇〇賞（平成 29 年）優秀賞受賞	〇〇新聞
〇〇大賞（令和 3 年）特別賞受賞	（一社）〇〇

11. 活動に関するPR・エピソード（自由記入、写真等添付可）

※応募用紙が 3 ページを越えないようにしてください。

〇〇県に移住をしたら、田舎には宝のようなものが沢山あり、これらを掘り起こして全国に発信しなくてはと思い見回すと、地域には沢山の魅力的な農産物がありました。
この農産物を求めている人達が全国にいます。作っている農家さん達は利益のある売り先を求めています。自分達はその橋渡しを行い、都会と地方の共存共栄が必要だとの思いから事業を立ち上げました。
余ってしまうもの、お米の需要拡大をテーマに小麦粉加工品にお米を積極的に利用した商品を開発し、お米を使った「〇〇」は開店直後には完売になるほどの大人気になっています。赤ちゃんもアレルギーがある人も食べられるよう、ブランド米を使った〇〇の全国配送も好評です。
新型コロナウイルス感染症の時代ですが、新しい工夫と提案を実現させて売り上げは伸びるようになりました。過疎化の進行している町ですが、子ども達には地域の魅力を体験してもらい、一度外に出たのち「この町で子育てをしたい」と思える活動、子育てから魅力ある町作りまでを積極的に取り組んでいくことが目標です。地域の沢山の方々と協力して活動に取り組んでいます。

12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。

情報を希望する

【注意事項】

- ① 記入欄に指定された文字数の範囲内で記入してください（文字の大きさも変更しないでください）。
- ② この選定は、農林水産行政施策の推進として、選定された取組内容を全国へ発信することが目的であることから、応募用紙に掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及び地方公共団体への情報提供等（農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など）に使用することがございますので、あらかじめ御了承ください。（個人名については公表、使用はいたしません。）
- ③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。
- ④ 12 に✓をご記入いただいた場合、ご連絡先情報を農水省内関係部局に共有させていただく場合がございます。